

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：グローバルキッズ大口園	種別：認可保育所
代表者氏名：村山 和恵	定員(利用人数)：65(利用者60名) 名
所在地：〒221-0015 神奈川県横浜市神奈川区神之木町16-15	
TEL：045-423-1256	
ホームページ：https://www.gkids.co.jp/	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2016年4月1日	
経営法人・設置主体(法人名等)：株式会社 グローバルキッズ	
職員数	常勤職員：15名 非常勤職員：7名
専門職員	(専門職の名称) 名
	保育士：18名 看護師：1名
	栄養士：1名 調理師：2名
施設・設備の概要	(居室数) 保育室：5
	(設備等) トイレ：10、調理室：1、事務室：1、園庭：有

③理念・基本方針

<経営理念>
子どもたちの未来のために

<保育理念>
豊かに生きる力を育てる

<保育方針>
一人ひとりの子どもがかけがえのない人生を豊かに歩いていくために、その人生の乳幼児期を「愛おしい存在」として認められ、その「命」を守られ、「心地よくいきいきと生きる」ことを最も重要と考え、子どもの気持ちを尊重し、受け止め、認めることで、子どもは「自己」を十分に発揮し、周りの人への信頼感が育ち、「自分は大切な存在」であると感じ取り、子どもたちが日々の生活を通して、「自分を大切にし」「人を大切にする」という人として大切な感情が育っていくよう、丁寧に、広い視野と客観性を持って保育を行う。

④施設・事業所の特徴的な取組

駅から徒歩数分の住宅街の中にある鉄骨2階建て造り、園庭を有した保育園です。園舎は陽の光がたっぷり入る構造になっており、子どもたちは明るい部屋の中で穏やかに過ごすことができるようになっています。

子どもを中心に据え、家庭や地域との信頼関係を築き、環境を通して、人や物との関わりを大切にしています。子どもの安全と安心を基本として、自ら伸びる力を大切にし、成長と個性に応じた多様性のある保育を行っています。子ども目線で豊かな愛情を持って、一人ひとりの気持ちをしっかり受け止め、その主体的な活動を育む保育を行っています。

子どもたちの「やりたい気持ち」を引き出すためクラブ活動を取り入れています。クラブ活動は月2回外部指導員の行う体操教室の無い週の主活動時間帯に行われています。クラブ活動の内容は毎月変わり、概ね3つの活動を提示しています。担当する職員が子どもたちに向かってプレゼンテーションを行い、子どもたちは自分がやりたいと思う活動を選び、取り組めるようになっています。子どもたちは担任以外の職員との関わりを持つことができると同時に、職員は子どもたちの意外性を発見する場となっています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年6月11日（契約日） ～ 令和4年3月7日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2018年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1) 子どもたちが楽しめる工夫を行っています

昨年度から、4、5歳児クラスの主活動の時間を使って月2回クラブ活動を行い、コロナ禍でも子どもが楽しめる企画を実施しています。クラブ活動には全職員が携わり、バトントワリング、剣道、シャボン玉、編み物など職員が得意とすること、やってみたいことを子どもたちに提案しています。毎月、3プログラムを用意し、担当する職員が子どもたちに興味を持って選んでもらえるよう、プレゼンテーションを行っています。子どもたちは前日に行われる職員の話の内容を保護者に話したり、何をやろうかと相談したり、成果を見せたりと親子で盛り上がり、友だち同士で相談するなど会話が増え、新たに友だちのを知る機会にもつながっています。また、職員間の会話も弾み、子どもや他の職員の新しい面を知る機会となったり、異年齢の保育体験をするなど、職員自身の保育に対するモチベーションを上げる機会となっています。

2) 清掃の行き届いた園舎で子どもたちは快適に過ごしています

子どもたちの午睡中、及び降園後に行う職員による念入りな清掃、消毒により園内は清潔で安全な環境が保たれています。コロナ禍で外出が制限され、園内で過ごす時間も多く、子どもたちにはきれいな環境の中で過ごしてほしいという職員の思いから念入りな清掃が行われています。園舎内の各箇所からおもちゃ、備品、設備などの細部にわたる衛生管理の徹底により、感染対策も取られています。子どもたちは明るく清潔な保育室で快適に過ごすことができます。

3) きめ細かい個別支援計画が作成されています

新たに導入された書式を用いて0歳から2歳児までの個別支援計画を作成しています。月間個別計画に毎日の経過記録が併記され、1ヶ月の子どもの成長の様子が細かく分かるようになっていました。職員は子どもの成長を確認しながら、予想される子どもの姿や環境配慮を考え、次月の計画を立てることができるようになっていました。

◇改善を求められる点

1) 地域との交流

前回の第三者評価でも挙げられていた改善項目ですが、コロナ禍の現在は地域との交流がさらに難しい状況となっています。電話での相談には丁寧に応じるようにしていますが、園見学や地域支援のための取組には応じることができない状況になっています。安全対策を充分施したうえでの地域の子育て家庭への育児講座、相談などへの取組、地域行事への参加などの再開が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

早いもので、保育園が開園してから今年で6年目を迎えました。そして今年度は、2回目の第三者評価を実施させて頂きました。前回の受審結果を経て、改善出来る所は、前向きに取り組む様、努力を重ねたつもりですが、この直近2年も続くコロナ禍において、なかなか前に進む事が出来なかったのが現状です。

しかし、受審するにあたり、全職員で施設の自己評価をしながら、職員で話し合いをする事により、園の強み、弱みが浮かび上がり、とても良い機会となりました。今回の受審結果をしっかりと受け止め、職員で共有しながら、園の運営に努めていきたいと思えます。

最後になりましたが、お忙しい中、保護者の皆様方にアンケートのご協力を頂きありがとうございました。

そして、前回に引き続き株式会社フィールズ様にお世話になり、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

グローバルキッズ大口園
園長 村山 和恵

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり